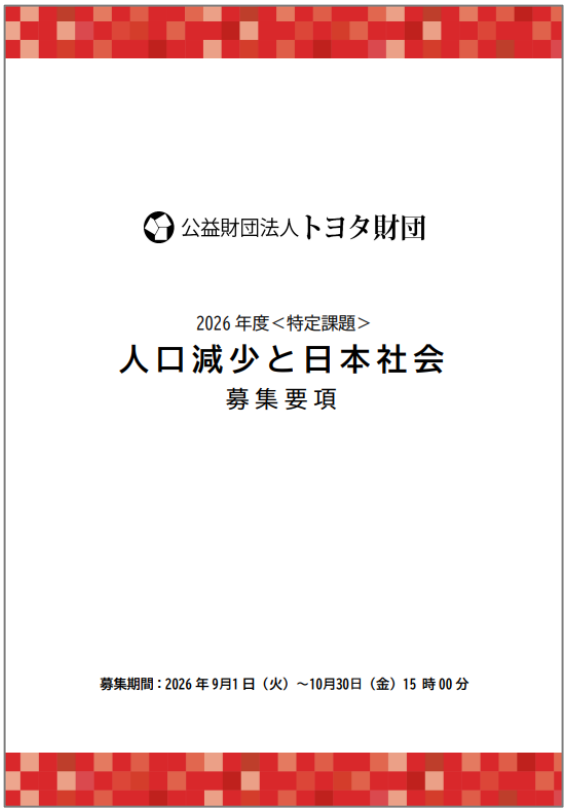
2026年度助成　公募説明会　資料

トヨタ財団

特定課題「人口減少と日本社会」



公益財団法人
トヨタ財団

プログラム事務局
（国内助成グループ）

Copyright © The Toyota Foundation All Rights Reserved.

トヨタ財団　2026年度助成の概要

公益財団法人 トヨタ財団

プログラム	内　容	予　算	募集方法
国内助成 ＜11月助成＞	基本テーマを「新常態における新たな着想に基づく自治型社会の推進」とし、2つの枠組み（日本全体、特定地域）での実践に助成	9,000万円	公募
研究助成 ＜11月助成＞	基本テーマを「つながりがデザインする未来の社会システム」とし、〈共同研究助成〉および〈協働事業プログラム〉の2つで実施	8,000万円	公募
国際助成 ＜11月助成＞	基本テーマを「アジアの共通課題と相互交流―学びあいから共感へ―」とし、東・南・東南アジアの各国・地域を対象に助成	8,000万円	公募
特定課題 ＜翌5月助成＞	①先端技術と共創する新たな人間社会（2018～） ＡＩなどデジタル技術の急速な進展によって生じる諸課題に対する研究・実践活動に助成 ②外国人材の受け入れと日本社会（2019～） 5つの課題を設定し、外国人受入れの総合的な仕組み構築への寄与が期待できる調査・研究・実践活動に助成 ③人口減少と日本社会（2024～） 「未来の担い手」が実施主体となり、人口減少の緩和と人口減少下における日本社会のあり方への調査研究と提言に助成	①5,500万円 ②5,500万円 ③4,500万円	公募 公募 公募
イニシアティブプログラム	ＮＰＯの基盤強化など非営利セクターの発展に資するプロジェクトなどを積極的に支援 その他、他組織との共同助成や民間財団として支援の意義が大きいプロジェクト、将来の新しいプログラムの開発に資するためのプロジェクトを積極的に発掘	8,000万円	非公募

Copyright © The Toyota Foundation All Rights Reserved.

1．プログラムの背景・経緯

Copyright © The Toyota Foundation All Rights Reserved.

特定課題プログラムの位置付け

公益財団法人 トヨタ財団

・定常プログラム（研究・国際・国内）は**5～7年程度のサイクルでテーマや助成の枠組みの見直し**を実施

・何れのプログラムも**助成対象となる取り組みは幅広く**設定

・特定課題プログラムでは、時代背景や社会環境などを踏まえて、**対象となる分野や領域、課題などを絞り込み**、定常プログラムからスピンオフしての設計

◆定常プログラムの現テーマと特定課題プログラムの開始年度・テーマ

研究助成プログラム 「つながりがデザインする未来の社会システム」	⇒	2018年度～ **「先端技術と共創する新たな人間社会」**
国際助成プログラム 「アジアの共通課題と相互交流―学びあいから共感へ―」	⇒	2019年度～ **「外国人材の受け入れと日本社会」**
国内助成プログラム 「新常態における新たな着想に基づく自治型社会の推進」	⇒	2024年度～ **「人口減少と日本社会」**

Copyright © The Toyota Foundation All Rights Reserved.

国内助成プログラムの変遷（2004～地域社会に焦点化）

公益財団法人 トヨタ財団

年度	（公募）テーマ	
2004～2007	地域社会の再構築を目指して ―支え合うくらしといのち	地域社会プログラム
2008～2010	地域に根ざした仕組みづくり ―自立と共生の新たな地域社会をめざして	
2011	継ぐ、つくる、つながる ―共に拓く地域の未来	
2012	人がつながり、地域が動く ―共に拓く地域の未来	国内助成プログラム
2013	人がつながり、地域が動く ―共に拓く私たちの未来	
2014	未来の担い手と創造する新しいコミュニティ ―地域に開かれた仕事づくりを通じて―	
2015～2018	未来の担い手と創造する持続可能なコミュニティ ―地域に開かれた仕事づくりを通じて―	
2019～2020	未来の担い手と創造する持続可能なコミュニティ ―地域に開かれた活力ある課題解決の仕組みを通じて―	
2021～	新常態における新たな着想に基づく自治型社会の推進	

キーコンセプト：少子高齢化、人口減少、地域／社会の持続可能性、担い手など

Copyright © The Toyota Foundation All Rights Reserved.

2．プログラム概要

Copyright © The Toyota Foundation All Rights Reserved.

対象となるプロジェクトの考え方

（募集要項「１．プログラムの趣旨」より抜粋）

国や地方自治体により様々な少子化対策が実施・推進されていますが・・・（中略）・・・**民間においても多くの**取り組みが行われていますが、**社会全体での情報や成果等の共有は不十分な状況**です。

これまでの様々な対応・対策の**効果や意義等を掘り下げてレビュー**し、それに基づいて**人口減少の緩和**、**人口減少下における日本社会のサステナビリティに関して考える**取り組みに助成を行います。

©いらすとや

2つのステップ（段階）が計画されたプロジェクトが対象

①既存の対応・対策の検証や分析＝**調査研究**

②その結果に基づいて将来を見据えた新たな計画や提議を創出＝**提言**

Copyright © The Toyota Foundation All Rights Reserved.

中心となるアクター／プレイヤーの捉え方

公益財団法人 トヨタ財団

（募集要項「１．プログラムの趣旨」より抜粋）

人口減少や少子高齢化は日本の社会・経済にとって**超長期にわたる重大な課題**であり、その影響は極めて大きなものです。

本プログラムでは、**今後も続く人口減少時代を生きる若者や次世代の人材を「未来の担い手」と捉え、彼／彼女らが主体性を発揮**し、・・・（中略）・・・**レビュー**し、・・・（中略）・・・考える取り組みに助成を行います。

©いらすとや

＜応募・プロジェクト要件として＞

プロジェクト代表者＆実施メンバーの半数以上が40代以下のチーム

調査研究に関わる専門性を有する人材がいる

領域横断的なメンバー構成になっている

Copyright © The Toyota Foundation All Rights Reserved.

助成の枠組み（助成期間・金額、対象費目など）

公益財団法人 トヨタ財団

助成分野 **※全ての分野で「調査研究」と「提言」が必須**	【人口の減少を緩和する視点から】 (1)政府・地方自治体による施策、制度、取り組みに関して (2)民間企業や地域社会等における取り組みに関して 【人口減少時代への対応の視点から】 (3)インフラストラクチャー（地域資源や共有財など）の新生・改革・運用に関して (4)地域／社会の新たなグランドデザイン（仕組みや環境、暮らし方など）に関して
助成期間	「2年間（2027.5.1～2029.4.30）」or「3年間（2027.5.1～2030.4.30）」 **※助成期間は任意選択、応募時の「基本情報」に入力**
助成金額	500万円～1,000万円　（助成総額4,500万円、4～6件の助成を予定） **※選考結果により応募金額から減額での採択となる場合有**
助成費目	人件費や事務局経費を含むプロジェクト実施に必要な経費 **※今年度からプロジェクトの運営において中心となる組織・団体の管理費も対象（応募金額に対して上限10%）** **※応募予算は必ず対象となる費目ごとに使途や積算根拠が読み取れるように計上（予算の妥当性は選考上で重要な観点となります）**

Copyright © The Toyota Foundation All Rights Reserved.

本プログラムの性質や意図など

公益財団法人 トヨタ財団

1．国内助成プログラムからのスピンオフ

- プロジェクトの目的・目標の実現に向けて**多様なステークホルダー（人材や組織）が協力した「チーム」への助成**
- 従来の実践フェーズへの助成
  ⇒過去の助成事例や先行事例の**振り返りや検証を踏まえた社会提案**

2．一助成財団による市民（民間）セクターへの助成

- **社会を捉える多様な視点**、ボトムアップや人々へのまなざし
- 対症療法的な課題解決ではなく**新たな価値の提示や着想を重視**

3．プログラムの規模感や立ち位置

- 国の施策や公的な制度等の設計に直接的な関与**（→実現性？）**
- 既存、先行、類似とのすみ分けや差異化**（重層的、網の目）**

©いらすとや

Copyright © The Toyota Foundation All Rights Reserved.

3．企画書作成の要点

Copyright © The Toyota Foundation All Rights Reserved.

応募書類の構成

公益財団法人
トヨタ財団

0．基本情報（応募システム内で入力）

1．応募の動機や背景

2．プロジェクトの目標

3．実施内容

4．実施スケジュール

5．助成期間終了後の展開・展望

6．実施体制

（1）プロジェクトチーム体制
（2）チームメンバー（個人・団体）の活動実績・経歴
（3）プロジェクトチームの特徴（構成の経緯や意図、強みなど）
（4）プロジェクトチームの母体・中心となる団体の情報

7．実施予算　※応募金額の内訳＋実施総額（他財源を含む）

Copyright © The Toyota Foundation All Rights Reserved.

応募書類の構成

公益財団法人
トヨタ財団

0．基本情報（応募システム内で入力）

1．応募の動機や背景

2．プロジェクトの目標

3．実施内容

4．実施スケジュール

5．助成期間終了後の展開・展望

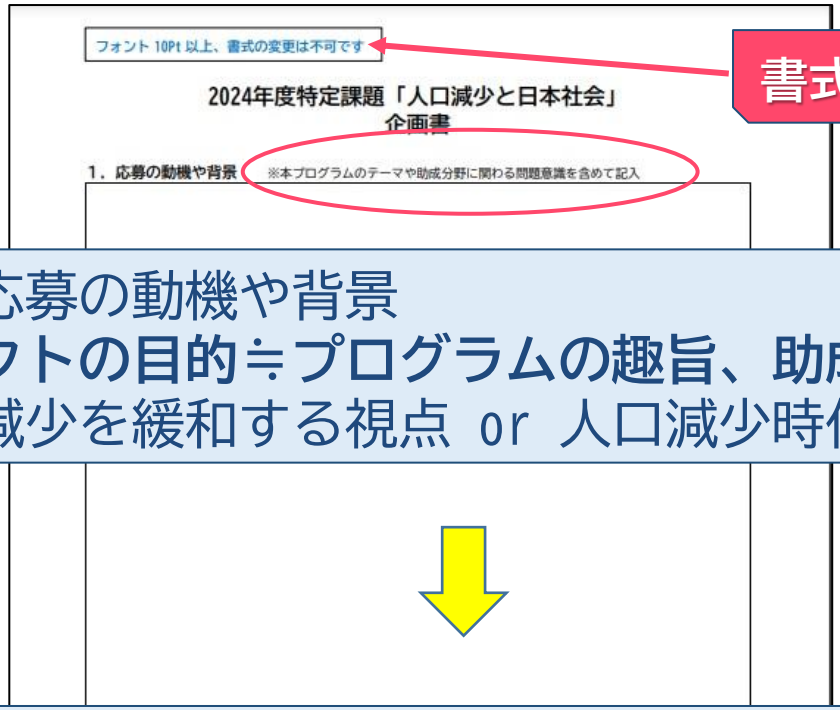
6．実施体制

（1）プロジェクトチーム体制
（2）チームメンバー（個人・団体）の活動実績・経歴
（3）プロジェクトチームの特徴（構成の経緯や意図、強みなど）
（4）プロジェクトチームの母体・中心となる団体の情報

7．実施予算　※応募金額の内訳＋実施総額（他財源を含む）

Copyright © The Toyota Foundation All Rights Reserved.

企画書　設問１



書式ルールは必ず順守ください

設問１：応募の動機や背景
プロジェクトの目的≒プログラムの趣旨、助成分野
→人口の減少を緩和する視点 or 人口減少時代への対応の視点

「人口減少と日本社会」というテーマ（課題設定）に対してどのような問題意識があって応募につながったのか？という入口から応募者やプロジェクトを紐解いていきたい

cf.）「人口減少」という課題に対して人口の増加を企図したプロジェクトだけでなく、「人口減少」をネガティブに捉えずに、その状況下での望ましい在り方を展望したり新たなフレームワークを提案したりするプロジェクトも積極的に企画・応募ください。（募集要項P1）

©いらすとや

Copyright © The Toyota Foundation All Rights Reserved.

応募書類の構成

公益財団法人
トヨタ財団

0．基本情報（応募システム内で入力）

1．応募の動機や背景

2．プロジェクトの目標

3．実施内容

4．実施スケジュール

5．助成期間終了後の展開・展望

6．実施体制

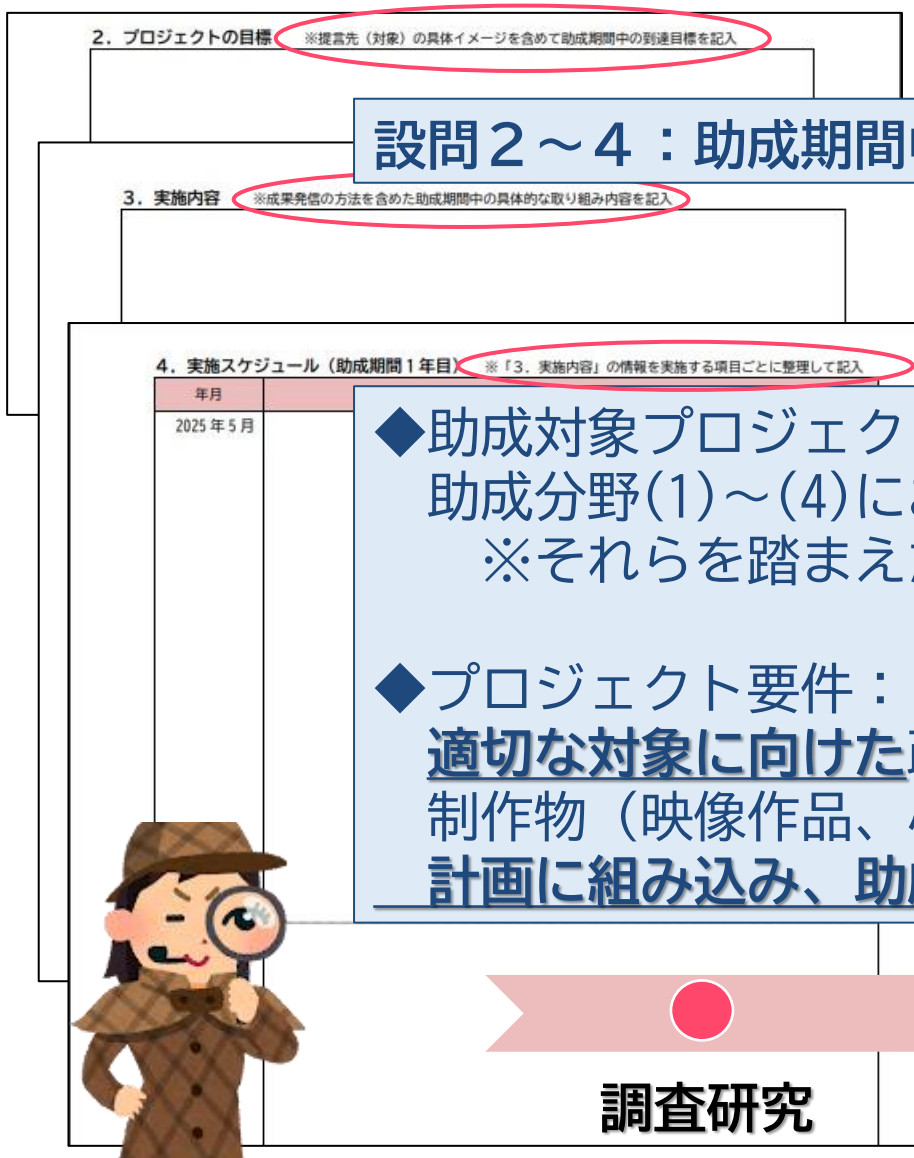
（1）プロジェクトチーム体制
（2）チームメンバー（個人・団体）の活動実績・経歴
（3）プロジェクトチームの特徴（構成の経緯や意図、強みなど）
（4）プロジェクトチームの母体・中心となる団体の情報

7．実施予算　※応募金額の内訳＋実施総額（他財源を含む）

Copyright © The Toyota Foundation All Rights Reserved.

企画書　設問２～４

公益財団法人
トヨタ財団



設問２～４：助成期間中のゴール設定と取り組むこと

◆助成対象プロジェクト：
助成分野(1)～(4)における**「調査研究」**と**「提言」**
※それらを踏まえた試行や実践を含めることも可能

◆プロジェクト要件：
適切な対象に向けた政策提言や公開シンポジウムの開催、制作物（映像作品、小説、演劇等々）等による**成果発信を計画に組み込み、助成期間内に実施する**こと

＊助成期間中のタイムラインのイメージ

調査研究　**提言**　※試行・実践

©いらすとや

Copyright © The Toyota Foundation All Rights Reserved.

応募書類の構成

公益財団法人
トヨタ財団

0．基本情報（応募システム内で入力）

1．応募の動機や背景

2．プロジェクトの目標

3．実施内容

4．実施スケジュール

5．助成期間終了後の展開・展望

6．実施体制

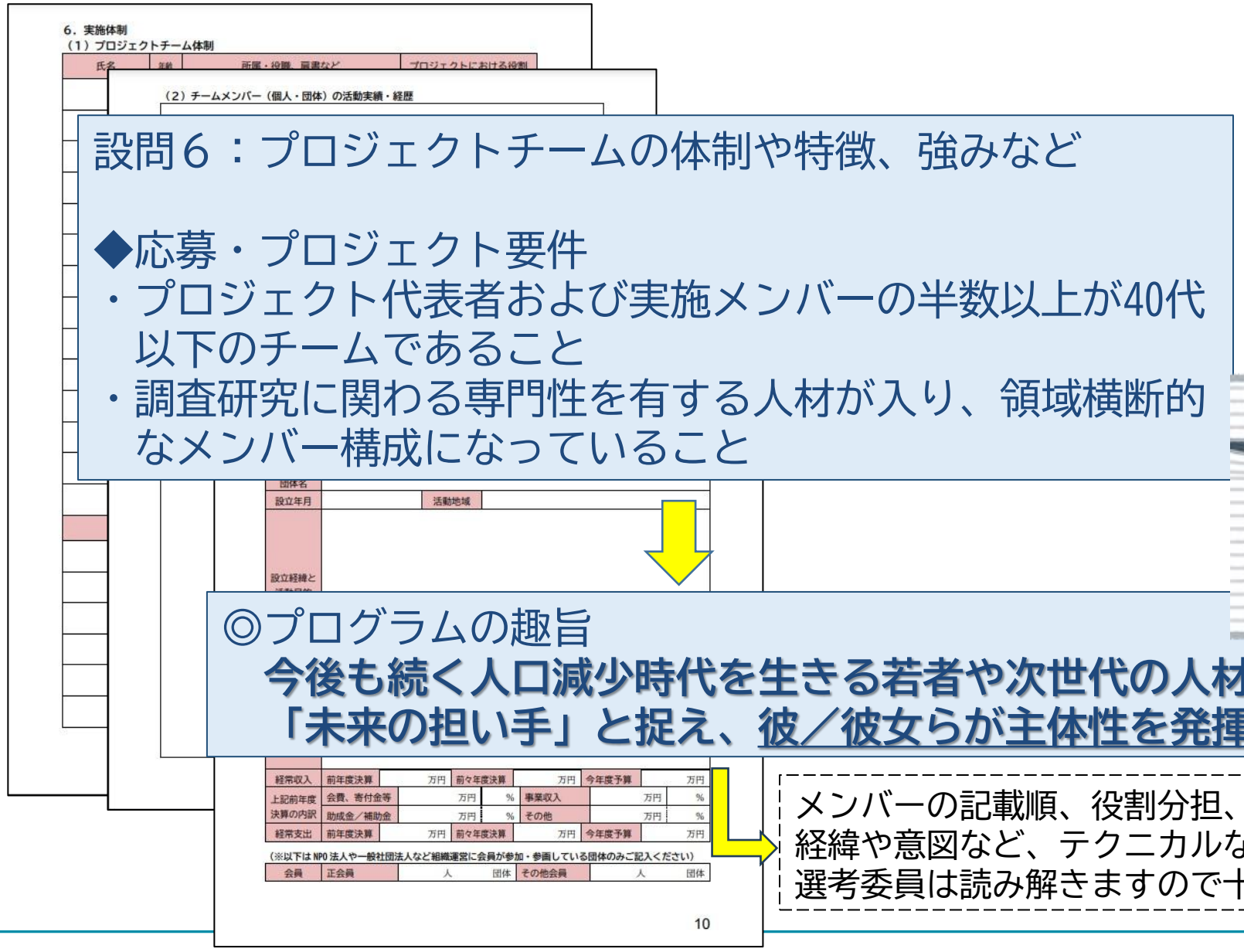
（1）プロジェクトチーム体制
（2）チームメンバー（個人・団体）の活動実績・経歴
（3）プロジェクトチームの特徴（構成の経緯や意図、強みなど）
（4）プロジェクトチームの母体・中心となる団体の情報

7．実施予算　※応募金額の内訳＋実施総額（他財源を含む）

Copyright © The Toyota Foundation All Rights Reserved.

企画書　設問６

公益財団法人
トヨタ財団



設問６：プロジェクトチームの体制や特徴、強みなど

◆応募・プロジェクト要件
・プロジェクト代表者および実施メンバーの半数以上が40代以下のチームであること
・調査研究に関わる専門性を有する人材が入り、領域横断的なメンバー構成になっていること

©いらすとや

◎プログラムの趣旨
今後も続く人口減少時代を生きる若者や次世代の人材を「未来の担い手」と捉え、彼／彼女らが主体性を発揮

メンバーの記載順、役割分担、チーム構成の経緯や意図など、テクニカルな部分も含めて選考委員は読み解きますので十分ご意識を！

Copyright © The Toyota Foundation All Rights Reserved.

【参考】2024～2025年度助成の対象プロジェクト

公益財団法人 トヨタ財団

A. プロジェクトチームの母体・中心となる団体の属性：【大学・研究機関】

①地方自治体における少子化対策の再検討：人口学的分析と実験によるアプローチ

プロジェクト代表者：打越文弥（ハーバード大学アカデミースカラー）
［助成期間：2年間、助成金額：700万円］（2024年度助成）

②社会文化的アプローチを用いたプレコンセプションケアワークショップの開発と評価

プロジェクト代表者：奥本素子（北海道大学CoSTEP　部門長）
［助成期間：2年間、助成金額：998万円］（2024年度助成）
※北海道大学CoSTEP＝科学技術コミュニケーションの研究、実践の機関

③地域若手実践者・学術研究者の共創による人口減少地域を支える新たな事業体モデル構築

プロジェクト代表者：大仲克俊（岡山大学大学院　環境生命自然科学学域　准教授）
［助成期間：3年間、助成金額：1,000万円］（2024年度助成）

Copyright © The Toyota Foundation All Rights Reserved.

【参考】2024～2025年度助成の対象プロジェクト

公益財団法人 トヨタ財団

A. プロジェクトチームの母体・中心となる団体の属性：【大学・研究機関】

④ペリフェラル・コアを基軸とした都市圏辺縁生活圏モデルの構築と検証

プロジェクト代表者：青木嵩（大阪大学　建築・都市人間工学領域　助教）
［助成期間：3年間、助成金額：930万円］（2025年度助成）

⑤県内型二地域居住促進の態度行動変容アプローチの開発と評価

プロジェクト代表者：羽鳥剛史（愛媛大学　社会共創学部　教授）
［助成期間：2年間、助成金額：655万円］（2025年度助成）

Copyright © The Toyota Foundation All Rights Reserved.

【参考】2024～2025年度助成の対象プロジェクト

公益財団法人 トヨタ財団

B. プロジェクトチームの母体・中心となる団体の属性：【企業・民間事業者】

⑥人口減少社会と公共施設の『クリエイティブな解体』：未来の風景を探る

プロジェクト代表者：矢ヶ部慎一（公共R不動産　研究所所長）
［助成期間：3年間、助成金額：837万円］（2025年度助成）

⑦多拠点生活から考える専門人材活用モデルと制度設計

プロジェクト代表者：荒川裕貴（横浜市立大学　医学部医学科　公衆衛生学　助教　等）
［助成期間：2年間、助成金額：856万円］（2025年度助成）

Copyright © The Toyota Foundation All Rights Reserved.

【参考】2024～2025年度助成の対象プロジェクト

公益財団法人 トヨタ財団

C.プロジェクトチームの母体・中心となる団体の属性：【NPOセクター】

⑧Time UseとTime Valueから提案するウェルビーイングな地域デザイン

プロジェクト代表者：高橋今日子（東京大学大学院新領域創成科学研究科　特別研究員）
［助成期間：3年間、助成金額：1,000万円］（2024年度助成）

⑨移動型ESとしての移動スーパーの多機能化・持続化に関する中国地方横断実証研究

プロジェクト代表者：石原達也（NPO 法人みんなの集落研究所　会長）
［助成期間：3年間、助成金額：900万円］（2025年度助成）

⑩子どもが産まれたらチームを：頼れる社会と家族支援モデルの構築

プロジェクト代表者：兼城裕奈（認定NPO法人ノーベル　まるサポ事業部　マネージャー）
［助成期間：2年間、助成金額：844万円］（2025年度助成）

Copyright © The Toyota Foundation All Rights Reserved.

プログラム事務局問い合わせ

si4d@toyotafound.or.jp

◆トヨタ財団WEBサイト： https://www.toyotafound.or.jp/

◆トヨタ財団YouTubeチャンネル： https://www.youtube.com/@TheToyotaFoundation

Copyright © The Toyota Foundation All Rights Reserved.